

交通政策審議会 航空分科会 技術・安全部会 無人航空機の有人地帯における目視外飛行（レベル4）の実現に向けた検討小委員会について

1. 趣旨

無人航空機の有人地帯における目視外飛行（レベル4）の実現に向け、小型無人機の有人地帯での目視外飛行実現に向けた制度設計の基本方針に基づいた必要な制度整備等についての議論の場として、交通政策審議会航空分科会技術・安全部会の下に「無人航空機の有人地帯における目視外飛行（レベル4）の実現に向けた検討小委員会」（以下「小委員会」という。）を設置したものである。

2. 構成員及び運営

- 小委員会の委員は、別紙1のとおりとする。
- 委員長は、小委員会の委員から選任するものとする。
- 小委員会の事務局は国土交通省航空局にて行うものとする。
- 自由な議論を促進するため、小委員会は非公開とするが、報道機関による冒頭撮影を行えるものとし、配布資料は公表する。ただし、委員長が必要と認める時は配布資料の全部又は一部を非公表とすることができる。
- 小委員会は、必要に応じ、委員以外の民間企業、専門家等からの意見聴取を求めるものとする。
- ここに定めるもののほか、小委員会の運営に関し必要な事項は、事務局が委員長と相談の上決定する。

交通政策審議会 航空分科会 技術・安全部会 無人航空機の有人地帯における
目視外飛行（レベル4）の実現に向けた検討小委員会 委員名簿

（令和2年7月27日現在）

（五十音順）

<委員>

- 伊藤^{いとう} 恵理^{えり} 東京大学大学院工学系研究科 准教授
- 戸崎^{とどき} 肇^{はじめ} 桜美林大学ビジネスマネジメント学群 教授
- 轟^{とどろき} 朝幸^{ともゆき} 日本大学理工学部交通システム工学科 教授
- 松尾^{まつお} 亜紀子^{あきこ} 慶應義塾大学理工学部 教授
- 米田^{よねだ} 洋^{ひろし} 帝京大学理工学部航空宇宙工学科 教授
- 李家^{りのいえ} 賢一^{けんいち} 東京大学大学院工学系研究科 教授

<オブザーバー>

- 安藤 尚敏 （公財） 日本航空機操縦士協会 委員
- 神林 喜彦 （一財） 日本ラジコン電波安全協会 専務理事
- 阪口 晃敏 （一社） 日本産業用無人航空機工業会 会長
- 佐々木 徹 （一社） 日本航空宇宙工業会技術部（航空） 部長
- 鈴木 真二 （一社） 日本 UAS 産業振興協議会 理事長
- ／（一財） 総合研究奨励会 日本無人機運行管理コンソーシアム 代表
- 長尾 牧 （一社） 全日本航空事業連合会 ヘリコプター部会
運航委員会 特別委員
- 野波 健蔵 （一社） 日本ドローンコンソーシアム 会長

<関係省庁>

- 川上 光男 国土交通省 航空局 安全部長
- 小熊 弘明 国土交通省 航空局 安全部 安全企画課長
- 北澤 歩 国土交通省 航空局 安全部 航空機安全課長
- 平井 一彦 国土交通省 航空局 安全部 運航安全課長
- 柳澤 裕司 国土交通省 運輸安全委員会 事務局 首席航空事故調査官
- 長崎 敏志 内閣官房 小型無人機等対策推進室 参事官
- 土屋 暁胤 警察庁 警備局 警備運用部 警備第一課長
- 玉井 優子 経済産業省 製造産業局 産業機械課長
- 川上 悟史 経済産業省 製造産業局 産業機械課 次世代空モビリティ
政策室長
- 翁長 久 総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課長

以上